

おとなりさん

地域みんなでたすけあって、ささえあって

白石地区
北東白石地区
第3号

2019年6月発行

地域の方も専門職もみんなで一緒に支えあう地域づくり

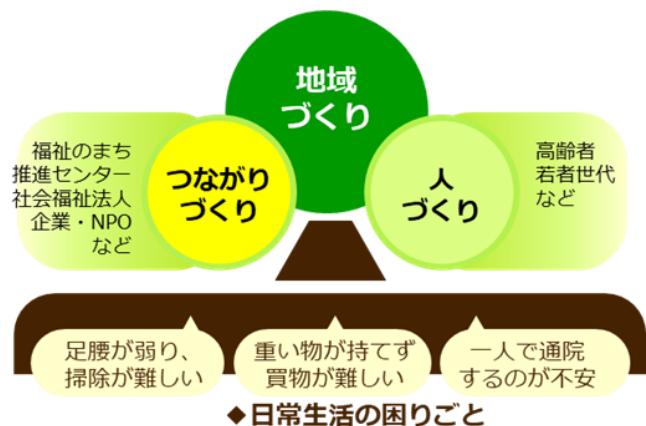
なぜ今、生活支援体制整備事業が必要なの？

ひとり暮らし世帯や支援を必要とする高齢者が増加するなか、困った時には、制度やサービスだけでは届かない、ちょっとした手助け（ごみ出し、電球交換や掃除など）が必要なことがあります。

急激な核家族化やプライバシーの問題により地域のつながりが希薄化しつつある現在、地域での孤立が発生しやすい状況です。孤立した状況が続くことは、生きがいの喪失や、日常生活に不安を感じることにつながります。

白石区社会福祉協議会には、地域の皆様とともに身近な地域での支え合いを推進し、支え上手・支えられ上手の地域づくりをすすめていくことを目的に、生活支援コーディネーター（札幌市から受託）が配置され事業を推進しています。（介護保険法に位置付けられた事業）

支え合いの地域づくり



今後求められる社会と支え合いの地域づくり

1. 健康寿命を延ばす

白石区では今後も高齢化が進行することが予想されます。また、介護人材の不足も深刻化しています。そのため、今後は、健康寿命を延ばしていくこと、つまり、介護予防のために高齢者自身が社会参加等の活動の機会をもつことが、生活機能の向上や生きがいをもった生活につながっていきます。

2. 支え合いの地域づくり

支援や介護が必要になり友人や隣人との関係が希薄になると、これまでの地域とのつながりが疎遠になってしまう可能性があります。

これからは、専門職サービスだけではなく、友人や隣人との「お互いさまの助け合い」が必要となってきます。身近な地域での支え合いは、「お互いさまの助け合いの輪」を広げていくことで、支援や介護が必要になっても、地域社会のなかから切り離されない住み慣れた地域での生活につながります。



白石地区

地域で出張研修を開催しています！

5月23日（木）、白石区本通親和会 福祉推進委員会にて、福祉研修会として「白石区における生活支援体制整備事業の取り組みについて」というテーマでお話をさせていただきました。

本通親和会は白石地区にある23単位町内会のうち、最も早く福祉推進委員会を立ち上げた町内会であり、地域福祉活動に熱心に取り組んでいただいている町内会のひとつです。昨年度の見守り活動実施報告やサロンの実施状況の報告もお聞きすることができ、町内会が一体となって地域福祉活動を推進されている様子を知ることができました。

今後も生活支援体制整備事業を通し、地域の福祉活動を一体的に進めています。

このほかにも、白石地区・北東白石地区では民生委員児童委員協議会、老人クラブ、すこやか倶楽部等を訪問させていただき、研修や事業説明の機会をいただいているます。

本事業説明や研修等のご要望がございましたら、お気軽にお声かけください！



▲白石区本通親和会 福祉研修会

北東白石地区

住民主体の支え合いの地域づくり！

北東白石地区では、住民主体のボランティアグループである「ボランティアクラブオレンジリング」が身近な地域のために活躍されています！

ボランティアクラブオレンジリングでは、ボランティア活動のほか、地域食堂や川下オレンジカフェを開催しています。地域の方が安心して過ごすことができる「憩いの場」にしたいという、共通の思いからはじめた活動です。毎月1回（最終月曜日12:00～※変動有）北都地区会館で開催される地域食堂には、限定70食のカレーライスを楽しみに、多くの人が訪れています。

皆様も、外出や交流の機会として、ぜひ足を運んでみてはいかがでしょうか。

◆お問合せ先◆ 札幌市白石区介護予防センター川下 011-875-6810



▲地域食堂はいつも賑わっています！オレンジリングのメンバーは月1回の定例会を開き活動されています。



片山(かたやま)

地区担当のつぶやき

白石区に生活支援推進員（第2層生活支援コーディネーター）が配置されてから約8か月が経過しました。あたたかく迎えてくださり、様々な場面で協力してくださる地域の皆様にいつも感謝しています。どうもありがとうございます。

今後も地域の皆様と連携させていただきながら、支え合いの地域づくりを進めていくことができれば嬉しく思います。今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。

お問い合わせ先 社会福祉法人 札幌市白石区社会福祉協議会

〒003-8612 札幌市白石区南郷通1丁目南8-1 白石区複合庁舎1階

TEL (011)861-3700

FAX(011)866-8999